



■ 郭 洋春 かく やんちゆん

立教大学総長・経済学部教授。1983年法政大学経済学部卒業、1985年立教大学大学院経済学研究科経済学専攻博士課程（前期課程）修了、1988年立教大学大学院経済学研究科経済学専攻博士課程（後期課程）単位取得退学。専攻は開発経済学、アジア経済、平和経済学。立教大学経済学部教授。経済学部長・経済学研究科委員長を経て、2018年より現職。主著として(1)『国家戦略特区の正体 外資に売られる日本』、(2)『現代アジア経済論』。

■ 平本 督太郎 ひらもと とくたろう

金沢工業大学SDGs推進センター長。2015年慶應義塾大学大学院メディアデザイン研究科博士課程後期修了、メディアデザイン博士。2016年末まで野村総合研究所にて経営コンサルタントとして活躍。日本政府・国連機関等と共に社会課題解決型ビジネスの推進に関する政策立案を行うとともに、民間企業に向けた事業創造支援を行い、その実績により社長賞を受賞。金沢工業大学着任後、現場統括として金沢工業大学の第1回ジャパンSDGsアワード受賞、金沢の自動車リサイクル企業である会宝産業の顧問として第2回ジャパンSDGsアワード受賞に大きく貢献する。経済産業省「BoPビジネス支援センター運営協議会」委員、ジェトロ「SDGs研究会」委員、白山市「SDGs推進本部アドバイザーボード」座長等、日本政府機関・自治体の委員を歴任。主著として(1)平本督太郎記「BoPビジネス3.0—持続的成長のエコシステムをつくる」、英治出版、2016、(2)小池純司、平本督太郎他、「アフリカ進出戦略ハンドブック」、東洋経済新報社、2015。

■ 田中 亮平 たなか りょうへい

創価大学副学長。1977年東京大学文学部卒業、1979年東京大学大学院人文科学研究科修士課程修了。専攻は独語独文学・ゲーテ。1980年から岡山大学教養部助手、講師。1985年創価女子短期大学助教授。1990年から創価大学文学部助教授、2002年教授。創価大学ワールドランゲージセンター長、教務部長、副学長補などを経て2016年から副学長。主著として(1)森淑仁、田中亮平、平山令二、伊藤貴雄訳、『ゲーテ=シラー往復書簡集上・下』、潮出版社、2016年7月。(2)田中亮平、『Goethe und der Humanismus in Japan im beginnenden 20.Jahrhundert』、日本ゲーテ協会、ゲーテ年鑑第52巻、pp100-116、2010年10月。

■ 芝池 成人 しばいけ なりと

東京工科大学工学部機械工学科教授。1978年東京大学工学部卒業。1997年東京大学より博士（工学）取得。専攻は機械工学、環境配慮設計。1978年松下電器産業株式会社（現、パナソニック株式会社）中央研究所勤務、2013年東京大学、ケンブリッジ大学の研究員等を経て現職。主著として(1)サステイナブル工学基礎（編著、コロナ社）、(2)演習で学ぶLCA（共著、シーエーティー）。

■ 長谷川 伸 はせがわ しん

関西大学商学部准教授。1990年東北大学経済学部卒業、1995年東北大学大学院経済学研究科経済学専攻博士課程後期課程所定単位取得後退学。専攻は経済学。1995年4月東北大学経済学部助手、1996年4月関西大学商学部専任講師、2004年4月関西大学商学部助教授、2005年10月～2006年9月ミナス・ジェライス連邦大学（UFMG）工学部客員教授、2007年4月関西大学商学部准教授（現在に至る）、2018年7月一般社団法人イマココラボ公認2030SDGsファシリテーター。主著として(1)長谷川伸「日系二世・戦後移民はなぜウジミナスへ入社したか」『関西大学商学論集』第57巻第2号、43-59頁、2012年。(2)長谷川伸「ウジミナス建設・操業開始期における通訳者」『関西大学商学論集』第60巻第3号、57-79頁、2015年。